

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
小坂井地区

平成23年9月

愛知県豊川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	町民一人当たり避難施設等面積	(㎡/人)	0.76	1.4	1.4	確定 見込み ●	○	あり なし	1.4	平成23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	耐震対策が不十分であった避難施設(中央公民館、小坂井中学校)の改修により、町民一人当たりの避難施設等面積が増加し、地域の子どもから高齢者までが安全で安心して暮らせる環境が整った。
指標2	避難場所(公園等)へ歩いていける人数	(人)	14,000	19,000	19,023	確定 見込み ●	○	あり なし	19,192	平成23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新池公園の整備や、小坂井中学校、中央公民館の耐震対策の実施等により、災害時に避難場所へ容易に歩いていける人数が増加した。また、拡幅等の道路整備は、避難場所への安全な避難導線の確保に寄与した。
指標3	防災訓練参加者人数	(人)	1,323	2,000	2,038	確定 見込み ●	○	あり なし	2,214	平成23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中央公民館、小坂井中学校などの避難施設の改修や、防災倉庫の設置により、防災訓練参加人数は増加しており、住民の防災に対する意識の向上に繋がった。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区内人口	(人)	18,756	/	19,023	確定 見込み ●	/	/	19,192	平成23年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	当該地区内において、道路や公園といった基盤整備や、各種防災・福祉対策等の実施が周辺の生活環境の向上に寄与し、良好な生活環境の形成による定住人口の増加に繋がった。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地区内交通の円滑化	・道路事業	町内からの要望に基づき、道路改良などが引き続き行われており、地域内交通の円滑化が図られている。	町内要望等に基づき、道路改良や交通安全事業を行い、地区内交通の円滑化を図る。
	道路の安全性の強化	・交通安全事業	町内からの要望に基づき、カーブミラー設置などが引き続き行われており、道路交通の安全性の強化が図られている。	町内要望等に基づき、道路改良や交通安全事業を行い、道路交通の安全性を強化する。
	住民が安心して避難できる環境の整備	・防災パンフレットの配布	防災パンフレットを配布し、災害に対する備えなどの情報を発信し、住民が安心して避難できる環境の整備が図られている。	地域住民に防災パンフレット等を配布することで、防災意識を啓発し、災害時にパニック等が生じず、安心して避難できる環境を整備する。
	災害に強いまちづくり	・防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	防災ボランティアによる、災害時における体制等の整備をすすめられており、災害に強いまちづくりの整備が図られている。	自主防災会や防災ボランティアを軸とした防災訓練、防災ボランティアの調整役となるコーディネータの養成を行うことで、災害時に、住民が避難や避難生活を安全かつ円滑に実施できる体制を整備する。 また、活動等を通じ認識される、防災、減災に必要な対策事業について検討、推進する。
	整備された施設の維持	・新池公園の維持管理活動の支援	地域住民と協同で維持管理を進めることで、適切な維持管理が図られている。	新池公園は、地域住民と連携し適切に維持管理を行う。
	防犯性の高い安心・安全なまちづくり	・防犯灯設置費補助事業	町内会がすすめている防犯灯の設置などが引き続き行われており、防犯性の高い安心・安全なまちづくりが図られている。	地域の防犯を高めるために、市として町内会や防犯ボランティアに対する支援を積極的に進める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	整備された防災機能の周知	・防災マップの作成	防災マップを配布し、避難場所といった地域に備わる防災機能の周知が図られている。	災害時に住民が迅速かつ安全に行動できるように、地域の防災施設を網羅した、防災マップを作成や地域の防災情報の確認を行うなど、地域に備わる防災機能の周知を図るとともに、防災、減災に必要な対策事業について検討、推進する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
水害に強いまちづくり事業	雨水浸透施設等の整備を実施し、安全安心なまちづくりを推進する。	H24～	浸水等の被害が想定される地区について、早急かつ効果的に事業を推進する必要がある。